

県民・市民の皆様からの御意見や御提案(パブリックコメント)

平成26年12月25日(木)～平成27年1月26日(月)までの間に、「四日市港戦略計画2015～2018(案)」に対する意見募集を行った結果は、次のとおりでした。
 貴重なご意見をありがとうございました。

○意見募集結果

募集期間：平成26年12月25日(木)～平成27年1月26日(月)

提出者数：10名(4団体からの回答を含む)

意見数：20件

番号	該当ページ	関係する 政策・施策・事業	意見・提案概要	対応状況(詳細、理由)	担当課
1	8～17	政策1	<p>市場のグローバル化や少子高齢化など、社会構造の急激な変化の中で、四日市港が荷主や船社から選ばれる港となるために取り組むべき事項について、的確にまとめられた施策となっていると思います。</p> <p>四日市港の発展が、当市の産業は勿論、都市としての発展の中核的役割を担うべく、本施策が確実に実行されるように願います。</p>	<p>政策1「物流を支える港づくり」については、社会経済情勢の変化に的確に対応し、四日市港が今後も背後圏の産業を物流面から支えるという役割を果たしていくために必要な取組として取りまとめたものです。本政策を着実に推進することで、四日市市をはじめとした背後圏の発展に貢献していき、四日市港長期構想に掲げる基本理念である「地域に貢献する、なくてはならない存在としての四日市港づくり」の実現に取り組んでいきます。</p>	企画課
2	8～17	政策1	<p>三重県の産業は、世界各国との貿易によって支えられており、また、産業の発展が三重県を元気あるものと感じています。</p> <p>アジアをはじめとする各国と四日市港が繋がっていることが、三重県の産業の発展に欠かせないものとなっていますし、今後更に三重県の産業、県民が元気あるものであり続けるためには、四日市港は欠かすことができない機能であります。</p> <p>国際貿易の結節点である四日市港がこれからも重要な役割を担う中、「物流を支える港づくり」の政策には大いに期待します。</p> <p>特に、年々着実にコンテナの取扱数量を増やしているのは、四日市港戦略計画を着実に進めていくために四日市港管理組合を始めとし、官民が一体となり集荷活動に取り組んできた結果であると思います。</p> <p>引き続き、四日市港戦略計画に掲げられている目標を達成するために、官民が連携し、船会社に対するインセンティブの拡充、ポートセールスの強化、そして、ガントリークレーンの増設といったソフト面とハード面の双方の施策実現に取り組んで頂き、四日市港の発展、三重県の産業の発展、三重県の活性化をお願いしたいと考えております。</p>	<p>政策1「物流を支える港づくり」については、社会経済情勢の変化に的確に対応し、四日市港が今後も背後圏の産業を物流面から支えるという役割を果たしていくために必要な取組として取りまとめたものです。本政策を着実に推進することで、四日市市をはじめとした背後圏の発展に貢献していきたいと考えております。</p> <p>具体的な取組の推進にあたっては、御意見にもありますように、ハードとソフトの両面の取組を一体的に進めることにより、四日市港戦略計画に掲げております目標の達成に取り組んでいきます。</p>	企画課
3	13、28、29	事業10102 事業20202	<p>改正SOLAS条約への対応について複数の事業の中で掲げられているが、国の施策であり、非常に重要な事業であると認識する一方で、コスト面についての課題は非常に大きいと感じている。行政として、改正SOLAS条約に対応した保安対策等を確実に実施していくことが必須なのであれば、行政としてコストの面に関してもしっかりと対応いただきたいと考えている。</p>	<p>「国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律」により、各国際埠頭施設における保安の確保のために必要な措置は、その施設の管理者が実施することとなっております。</p> <p>それらの措置を実施する際の費用についても施設管理者の負担となっていることから、民間の管理している施設の費用負担について四日市港管理組合として対応することは困難であると考えています。</p> <p>なお、費用に関する課題につきましては、施設管理者の負担軽減などを国に働きかけていきたいと考えています。</p>	港営課

番号	該当ページ	関係する 政策・施策・事業	意見・提案概要	対応状況(詳細、理由)	担当課
4	16、17	事業10201 事業10202	四日市港を取り巻く現状と課題が明確に示されており、今後4年間で何を するのが具体的に記載されています。まずは産業を支えるための機能充 実(老朽化対策を含む)を図り、荷主企業や船会社から選ばれる港を目指 し、積極的な事業展開をしていただきたいと思います。	戦略計画の施策102に位置付けた、港湾施設の整備や維持管理は、物流の低 コスト化や迅速化に資するもので、背後圏産業の国際競争力の維持・強化を物 流面から一層支援するものです。 このため、コンテナクレーンの増設、港湾関連用地の整備、上屋の耐震化、航 路・泊地の浚渫等を、積極的かつ着実に実施することにより、荷主企業や船会社 に選ばれる四日市港となるよう、取り組んでいきます。	整備課 施設保全課
5	16	事業10201	主な取組内容②で、民間事業者による物流センター建設を支援するた めの基盤整備が掲げられているが、建設予定地は北埠頭の先端でありコンテ ナターミナルの出入口もある。 周辺道路の取り付け方や幹線道路(北一号幹線道路)への交差をよく考 えないと、道路が非常に渋滞したり、交通事故発生の可能性が高まってい くのではないかとと思われるので、幹線道路に新たに交差点を設置するとか、 右折・左折車線の新設等の弾力的な対応が必要ではないか。	物流センターが完成すると、これを利用する車両が増加しますが、このこと に起因する渋滞が生じた場合は、ご指摘のとおり荷役効率の低下や交通安全上 の問題が発生する可能性があります。 このことについては、北埠頭港湾関連用地を整備する中で、関係者で協議を 行っています。	整備課
6	16	事業10201	主な取組内容④⑤で、霞4号幹線の完成と高規格道路網の整備を掲げら れているが、物流面、環境面、災害時の対応など様々な観点から見て、非 常に重要な項目である。更に積極的な働きかけをお願いしたい。	荷主企業、船会社の利用が増加するとともに、背後地の住民・企業や港の利 用者の安全性の確保や安心感が増すよう、関係者と連携しながら、霞4号幹 線の早期完成や新名神自動車道や東海環状自動車道といった高規格道路網 の整備促進を国に対して積極的に働きかけていきます。	整備課 企画課
7	17、28	事業10202 事業20202	港湾施設の長寿命化対策で「計画的修繕」が掲げられているが、施設の 計画的な修繕は非常に重要である。本戦略計画においては、大型修繕を計 画的かつ継続的に実施していくと考えてよいか。	将来にわたり必要な機能を港湾利用者に安定提供するため、岸壁等の施設 ごとに維持管理計画を策定し、また、四日市港全体の維持管理の方針を定め る予防保全計画を策定しています。これらの計画に基づき、計画的かつ継続 的に港湾施設の老朽化対策を実施することとしております。 その中で、御意見のありました「大型修繕」につきましても、上屋やコンテナ クレーン等のうち、耐用年数を経過したものや老朽化が著しく進んだもの について劣化対策や耐震対策を実施する等、計画的かつ継続的に実施して いくこととしています。 また、こうした点が明確となるよう、事業10202と事業20202の記述を 修正します。	施設保全課
8	17、28	事業10202 事業20202	港湾施設の長寿命化対策について、ガントリークレーンの計画的な修繕 実施が掲げられているが、一方で南埠頭の岸壁は見た目にも老朽化が非 常に激しいと思える。重いクレーンを改修しても、その土台である岸壁が 損傷しては元も子もないのではないかと懸念されている。岸壁の改修につ いて、触れられていないことに疑問を感じる。	施設の維持管理については、岸壁を含む全ての公共港湾施設を対象として おり、南埠頭の岸壁につきましても、今後、計画的に維持補修を順次実施 する予定です。なお、いただきましたご意見を踏まえ、事業10201と事業 20202において岸壁等も対象であることが明確となるよう記述を修正 します。	施設保全課

番号	該当ページ	関係する 政策・施策・事業	意見・提案概要	対応状況(詳細、理由)	担当課
9	22～24	事業20101 事業20102	東日本大震災により人々の防災意識が高まるこの機を存分に活かし、策定した避難誘導計画や、事業継続計画が机上の空論とならぬよう、市民を巻き込んだ一体的な防災体制の構築が必要と考えます。そのために、防災訓練等の積極的開催及び啓発をお願いします。	避難誘導計画や事業継続計画につきましては実効性のあるものとするため、計画を策定して終わりではなく、訓練等の実施を通じ、より良い計画になるよう、継続的に見直しを行うことが必要と考えております。このため、事業20101の防災体制の推進、事業20102の復旧体制の推進に取り組む中で、積極的に訓練を実施するとともに、他の機関等が開催する訓練にも参加するほか、啓発活動として、関係者からのご意見・情報を反映した、避難場所や避難経路の周知のための防災マップの作成・配布に取り組んでいきます。	施設保全課
10	22～24	事業20101 事業20102	行政機関や関係団体、民間企業、地域住民が避難や復興に向けた連携・協力をスムーズに行う体制づくりが重要であると考えことから、そうした関係者がどのように連携し、どのような役割分担を行うのか等を具体的に示し、戦略計画に基づく事業を積極的に推進していただきたいと思っております。	ご意見のとおり、避難体制をはじめとした防災体制や被災した場合の復旧体制の実効性を維持・向上させるためには、関係者間の連携の強化や役割分担の明確化が重要です。このため、津波発生時における近隣住民等による防潮扉等の閉鎖に関して協定を締結するとともに、港湾利用者等の避難場所や経路、情報伝達体制等を定めた計画を策定しています。また、港湾施設の復旧方法を定めた計画を策定する等、関係者の参画も得ながら、役割分担を明らかにした上で、連携体制の構築に取り組んできたところです。 次期戦略計画では、引き続き、関係者の参画も得ながら、こうした計画等に基づく訓練等を実施するほか、訓練結果等を踏まえた計画本体の検証・見直しを行うことにより、連携体制の強化に取り組んでいきます。 また、こうした点が明確となるよう、施策201、事業20101、事業20102の記述を修正します。	施設保全課
11	22、23	事業20101	市民と非常に関係が深い防災について取りあげている点を評価したい。一方で主な取組内容として①から④を掲げられているが、具体的なイメージがわからない。地域とも関係の深い防災への取組について、どんな所に力を入れて推進していくのか、わかり易く書いてもらいたい。四日市市民として期待をよせ、注目したいと思っている。	四日市港長期構想では「住民の暮らしを守ってくれる、頼もしい四日市港」を今後目指すべき姿の1つとしています。その姿を実現するため、東日本大震災の教訓等も踏まえ、国・県・市、住民や企業等と協働しながら、防災体制の整備に取り組んできたところです。次期戦略計画では、これまで整備してきた防災体制が災害時においても適切に機能するよう、行政機関や地元住民・企業と連携しながら、一層の啓発や訓練等を実施することにより、実効性の向上に取り組んでいきます。 また、こうした点がより明確となるよう、戦略計画の事業20101の具体的な取組内容について、記述を修正します。	施設保全課
12	22、23	事業20101	防災はわれわれ一般市民にとっても関心の高い項目です。本事業では具体的に何に力を入れるのか見えてきません。特に地域との連携においては、集中的かつ継続的な取組が必要ではないでしょうか。	また、こうした点がより明確となるよう、戦略計画の事業20101の具体的な取組内容について、記述を修正します。	施設保全課
13	24	事業20102	率直に言うとわかりづらい。「防災体制の推進」と同じで、具体的に何をしていくのか戦略や戦術が見えてこない。言葉は悪いが、中身があまりないように感じる。取組内容も規定路線の延長にしか感じられないので、取組内容を再考すべきではないか。	四日市港長期構想では「住民の暮らしを守ってくれる、頼もしい四日市港」を今後目指すべき姿の1つとしています。その姿を実現するため、東日本大震災の教訓等も踏まえ、地震や津波等による被災後に、速やかに緊急物資や港湾貨物の輸送機能を回復することを目的として、国・県・市や企業等と協働しながら、事前に整備すべき行動計画の策定や復旧体制の整備に取り組んできたところです。次期戦略計画では、策定した計画や整備した復興体制が災害時においても適切に機能するよう、行政機関、企業等と連携しながら、計画等に基づき訓練等を実施し、実効性の向上に取り組んでいきます。 また、こうした点がより明確となるよう、戦略計画の事業20102の具体的な取組内容について、記述を修正します。	施設保全課

番号	該当ページ	関係する 政策・施策・事業	意見・提案概要	対応状況(詳細、理由)	担当課
14	28、29	事業20202	<p>来るべき南海トラフ等の大地震に備え、本施策を最もスピード感を持って進めて頂きたいと思えます。</p> <p>東日本大震災以降、四日市港の防災対策が極めて重要な課題となる一方、災害発生時における救助活動や復興活動に貢献することが求められています。その中で、まず霞4号幹線の整備や港湾施設の耐震補強整備等の施設整備を確実に進めていただくことが必要であり、より積極的に事業を推進していただきたいと思えます。</p>	<p>南海トラフ地震等の発生に備えて、港湾施設の耐震化等、災害時においても港湾機能を維持するために必要な施設整備を進めていくことは、重要な課題と認識しております。</p> <p>このため、緊急物資輸送を支える四日市地区15号岸壁の耐震強化整備や、災害時におけるアクセスのリダンダンシーを確保する霞4号幹線の早期完成に向けて整備促進に取り組んでいるところです。次期戦略計画においても、四日市港が被災時の救助活動や復興活動に寄与し、背後の住民からの安心感が増すよう、引き続き霞4号幹線等の整備に取り組んでいきます。</p>	整備課
15	33	施策301	<p>公害を経験した当地の港として、環境貢献活動に積極的に取り組み、対外的に情報発信することは必要性が高いものと考えます。</p> <p>本施策にある温室効果ガスの削減活動や、緑地整備等が実行され、四日市港が市民生活を豊かにし、同時に産業活動を支える港であり続ける事を期待します。</p>	<p>四日市港長期構想に掲げた「人と生き物にやさしい港」「美しく、魅力ある港」「地球にやさしい港」といった姿を実現するため、環境と共生し豊かなみなの環境を次世代に継承し、持続可能な発展を遂げていくことが、不可欠であると考えています。</p> <p>そこで、次期戦略計画では、環境学習の実施等による次世代への継承や、良好な環境空間の形成、高松海岸における施設整備、吉崎海岸の保全・創造等の取組を実施します。また、グリーン物流促進補助制度により、貨物輸送時に発生する温室効果ガス排出量を削減又は抑制しようとする荷主企業の取組を支援します。</p>	整備課
16	33	施策301	<p>長期構想の中で「人と生き物にやさしい港」「美しく、魅力ある港」「地球にやさしい港」を目指す姿としています。四日市港が環境学習や自然環境改善、環境負荷低減に役割を果たすことは、市民の環境保全に対する意識啓発や企業のCO2削減に向けた取組を大きく前進させるものと考え、戦略計画に記載された事業を推進していただきたいと思えます。</p>	<p>なお、政策3「環境を守り、親しまれる港づくり」の実現には、四日市港管理組合だけではなく、県民・市民の皆様や、港湾事業者を含めた企業の方々との協働が不可欠ですので、今後もこうした取組への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。</p>	整備課
17	36～40	施策302 事業30201 事業30202	<p>今回の戦略計画をこれまでの経緯を踏まえて見ると、更なる取組が必要と思われる課題が「親しまれる港づくり」ではないかと考えます。長期構想の中では、「多くの人々が訪れ、憩い、楽しめる港」「港の文化が醸成し、住民の誇りとなる港」を実現したい姿とし、「まちづくりと一体となった港づくり」「みなの文化が醸成し、人々が憩い、楽しめる港づくり」を取組目標としています。長期構想作成時に示されたアンケートでも、市民は、「市民が訪れ、身近に感じられる港づくり」という施策について、高い重要意識を示す一方、満足意識は低いと回答しています。親しまれる港づくりは、単に港に人を集めるためのイベントを考えるだけのものではなく、特に四日市地区が、四日市市が今日までの発展を遂げるルーツとして廃れることのないよう、地域や市民のニーズに合わせ、姿、役割を変えていくためにも重要な施策であり、より戦略的かつ具体的な計画が必要だと考えます。</p> <p>つきましては、この親しまれる港づくりに関する記載は、こうした点がより明確化されるよう検討願います。</p>	<p>四日市港長期構想では、「多くの人々が訪れ、憩い、楽しめる港」「港の文化が醸成し、住民の誇りとなる港」を今後実現したい姿としています。次期戦略計画の4年間では、「県民・市民が身近に感じる港」を目指し、三重県・四日市市、民間企業等の様々な関係者とも連携しながら、ソフトとハードの両面から取組を進めていきます。この中で、四日市地区については、四日市市の中心市街地に近接するとともに、歴史的・文化的資源や運河等の港ならではの景観を有するという特性を活かし、千歳運河周辺で緑地整備を進めるほか、来訪者の利便性の向上等につながる土地利用規制の見直し等に取り組めます。</p> <p>また、このような点を踏まえて、戦略計画の施策302の取組方向や事業30201、事業30302の記載内容についても整理します。</p>	振興課

番号	該当ページ	関係する 政策・施策・事業	意見・提案概要	対応状況(詳細、理由)	担当課
18	36～40	施策302 事業30201 事業30202	<p>「親しまれる港づくり」部分の記載についてはもっと具体的に考えて頂きたいと思います。現行内容では、単にイベントを開催するということが目的となっており、長期構想の中で目指した姿に向かうための施策になっていないように感じました。</p> <p>特に、施策(事業)内容の記述が「…と連携して進めます。」「…を図ります。」「…充実します。」と、具体性に欠ける所が多く、また、これまでの取組から見えたであろう課題や、その解決策が盛り込まれていないように思われました。</p> <p>加えて、「四日市港の知名度向上」との記載がありますが、知名度が低いのではなく、四日市港に行きたいと思わせること、知りたいと思わせることができていないので、市民が港に行かないだけであり、現状および課題認識が少し薄いように思います。</p> <p>もう一度施策内容を吟味し、我々市民にとって、四日市港がより身近に、親しみやすい場所となっていくために、効果的な取組をして頂きたいと思います。</p>	<p>四日市港長期構想では、「多くの人が訪れ、憩い、楽しめる港」、「港の文化が醸成し、住民の誇りとなる港」を今後実現したい姿としています。次期戦略計画の4年間では、「県民・市民が身近に感じる港」を目指し、効果的な取組となるよう、三重県・四日市市、民間企業等の様々な関係者とも連携しながら、ソフトとハードの両面から取組を進めていきます。</p> <p>四日市港には、ポートビル等の賑わいを創出できる施設が集積している霞ヶ浦地区、潮吹き防波堤や末広橋梁等の歴史的・文化的資源や運河等の港町ならではの景観が残されている四日市地区等、地区毎の特性があります。このため、取組を進めるにあたっては、こうした地区毎の特性を活かして取組を充実させることにより、四日市港が県民や市民の皆様から魅力ある空間として関心を惹き、身近に感じていただけるよう取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、このような点を踏まえて、戦略計画の現状と課題、施策302の取組方向や事業30201、事業30302の記載内容についても整理します。</p>	振興課
19	36～40	施策302 事業30201 事業30202	<p>事業内容が「親しまれる港に向けた取組の推進」であるにもかかわらず、親しまれる港の姿が見えてこない。色々書いてあるが、具体的に何をしたいのか、何に力を入れて取組を推進していくのかわからない。もう少し取組内容を整理した上で、わかり易く書いてもらわないとわかりにくい。</p>	<p>四日市港長期構想では、「多くの人が訪れ、憩い、楽しめる港」、「港の文化が醸成し、住民の誇りとなる港」を今後実現したい姿としています。次期戦略計画の4年間では、「県民・市民が身近に感じる港」を目指し、霞ヶ浦地区や四日市地区それぞれの特性を活かしつつ、三重県・四日市市、民間企業等の様々な関係者とも連携しながら、取組を進めていきます。</p> <p>霞ヶ浦地区においては、ポートビルを核にコンビナート夜景等の工業港としての四日市港の魅力を活かした取組や港まつりの開催、客船等の誘致等の海や港ならではの魅力を活かした取組のほか、富双緑地等の緑地空間の積極的な利用促進に取り組めます。一方、四日市地区では千歳運河周辺を中心に、まちあるきイベント等の歴史的・文化的資源を活かした取組を実施します。</p> <p>こうした取組を進めることで、親しまれる港づくりの一層の充実を図っていきますので、今後ともご理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。</p> <p>また、このような点を踏まえて、戦略計画の施策302の取組方向や事業30201、事業30302の記載内容についても整理します。</p>	振興課
20	36～40	施策302 事業30201 事業30202	<p>四日市港は、昔と比較すると市民から遠い存在となってしまった。市民の港に対する親しみは徐々に薄れており、もっと力を入れる項目を絞って取組を推進していかないと目標を達成することは難しいのではないかと。今までの取組との違い、力を入れていく項目について明示されたい。地道な取組を継続する一方で、これまでと違うアプローチも必要であり、マーケティングをしっかりとした上で戦略をたててもらいたい。</p>	<p>県民や市民の皆様から四日市港が遠い存在として捉えられているといった点については、管理組合としても課題であると認識しております。そこで、次期戦略計画においては、4年間で「県民・市民が身近に感じる港」を目指して、親しまれる港に向けた取組を進めることとしています。</p> <p>具体的な取組を進めるにあたっては、例えば、霞ヶ浦地区においては、ポートビルからのコンビナート夜景を活かして、四日市市や四日市観光協会が進める産業観光の取組とこれまで以上に連携していくことで、若者や家族連れ等のより多くの県民・市民の皆様を訪れていただくよう取り組んでいく等、地区ごとの特性を踏まえて内容の充実を図っていきます。また、今後は、緑地・公園等についても、施設を管理するだけでなく、より積極的に利用されるような環境整備やアクセスの改善、近隣の施設とのネットワーク化を進めていく等、利用者の視点を意識した取組を進めていきます。</p> <p>また、このような点を踏まえて、戦略計画の施策302の取組方向や事業30201、事業30302の記載内容についても整理します。</p>	振興課